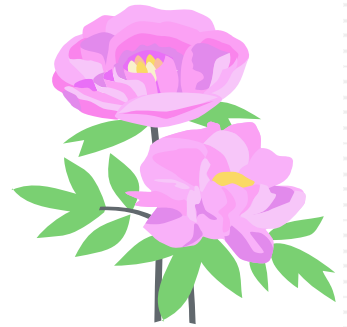


桂坂山の手俱樂部だより

(第16号)

平成21年5月1日発行
桂坂山の手俱樂部だより編集委員会



役員会だより

1. 第4回役員会開催(2/21)

1. 90名の参加を得た新年互礼会の、報告と反省をしました。
2. 会員の募集媒体として広報誌の活用を検討しました。
3. 今年度の活動と反省、次年度の方針を討議しました。

2. 第2回合同会議開催(3/8)

1. 全体活動、同好会活動、区老連活動の報告と意見交換をしました。
2. 次年度の事業計画につき、意見の交換をしました。

3. 第5回役員会開催(3/21)

1. 第18回総会議案の検討をしました。
2. 総会と親睦会の開催要領を検討しました。

市・区老連だより

1. 囲碁・将棋大会の開催

福利厚生委員 松本 初次
西京区老連主催の囲碁将棋大会が、来る6月13日(土)ふれあい会館で開催されます。

囲碁将棋ともA～Dクラスに分かれ、それぞれのクラスの優勝者は、8月に同じくふれあい会館で開催される京都市老連主催の大会に西京区の代表として出場して頂きます。

チャンス到来、日頃の腕試しの絶好の機会です。
同好会上久保(333-0100)さん
福利厚生委員松本(393-8702)のいずれかに、お申し込み下さい。

「ふれあい」

新緑の美しい季節を迎えました。山の手俱樂部の皆様方には益々ご健勝のことと存じます。

平素は、山の手俱樂部の運営に、ご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

四月十八日の総会で会長の大役を仰せつかりました、第二俱樂部しらばの乗本政三でございます。いたらぬ者ですが何卒よろしくお願い申し上げます。

山の手俱樂部も発足して十八年になり、俱樂部の歴史と多くの実践活動の実績を見ると、相互の信頼と親睦を基盤として十六の同好会が創設された会員の方々、皆わかあいあいと生き甲斐の場を楽しんでおられる事と存じます。住み慣れたこの地域の中で多くの仲間と共に健康で長く安心して暮らせることを願っております。

二十一世紀の桂坂のまちづくり桂坂自治連合会では基本理念として

一、自由な雰囲気漂うまち・桂坂

二、便利で住みよいまち・桂坂

三、安心安全のまち・桂坂
以上の理念を推進されて



おります。二十年を経過した今日まち全体がよつやく落着いて参りました。

山の手俱樂部も高齢化社会が進んでおります現在、桂坂に住んでいてよかった

これからも住み続けたいと思えるまちづくりを自治連合会に協力し共々推進して参りたいと思っております。

京都市から安心安全のまちづくりのモデル地区にも指定された桂坂、山の手俱樂部も活動の一環として子ども地域安全見守り隊活動にも参加しております。

また、高齢者対策として「ほっとライン」の会も昨年発足し多くの山の手俱樂部の会員がボランティアとして登録されております。

今後は、山の手俱樂部内部のことだけでなく地域社会に貢献できることを考え推進して参りたいと思っております。

役員一同、微力ですが頑張つて参りますので皆様方もマンション問題で示した住民の連携結束の力をもって地域発展のため一層のご協力をお願いする次第でございます。

結びに皆様のご健康、ご長寿をお祈りしてご挨拶いたします。
乗本 政三

2. 第3回区老連ダンスパーティに参加して

社交ダンス同好会 山下 カツ子

桂坂社交ダンス同好会が発足して3年が瞬く間に過ぎました。藤井先生、石川先生、岡代表のご丁寧なご指導の陰様で、ヨチヨチ歩きが出来るようになりましたことに感謝致しております。

去る3月2日、西京区老人クラブ連合会主催のダンスパーティが開催され、桂坂ダンス同好会も3年の月日が経って皆様の努力の成果をウエスティで発表させて頂きました。フォ-メ-ションのリズムに乗って、楽しそうにステップ踏まれる華麗な姿に感動し、元気に皆様方とダンスが踊れたことに幸せを感じ、忘れられない一日となりました。

「楽しく踊って健康に」をモットにしています。ダンスに興味のある方ご一報下さい。お電話をお待ちしています。連絡先は同好会の岡様(333-3410)まで。

同好会だより

1. 花の寺から大原野神社へ ハイキング同好会 中口利秋

ハイキング同好会が昨年9月に発足して、6ヶ月が過ぎました。自然環境に恵まれた緑豊かな桂坂内を3回歩いて、参加者同志があれやこれやと語りながら、時を過ごして参りました。

今年より桂坂以外のハイキングを実施したいと思い、新緑鮮やかな季節にさわやかな風に吹かれながら、4月17日(金)9名参加で10時30分洛西新林センタ-前に集合して、花の寺から大原野神社(途中野草をみながら)へと歩き桂坂に戻ってきました。

大原野神社ではワイワイガヤガヤと語りながら、季節の弁当に舌づつみを打ち一時間ほど酒宴を催し、楽しい一時を過ごしました。

これから以降、6、7、9、11、3月と5回予定致しております。一人でも多くの参加をお待ちしています。



その他のお知らせ

1. 桂坂小学校「遊びとぜんざいの会」に参加して

小学校担当 内田 圭子

去る3月14日(土)桂坂小学校に於いて、小学校 P.T.A、地域女性会、山の手倶楽部が合同で「昔遊びの会」が開催されました。

今年は新たに山の手倶楽部グラウンド・ゴルフ同好会の方々が小学生に教えてあげようと企画して下さいなのに、生憎の雨で中止となり残念な事でした。

体育館で P.T.A 主催の「子育てフォーラム」開催の間、女性会、山の手倶楽部の方々と小学生達が各教室に分かれ、羽根つき、新聞紙で作ったボールとバットでのバッティング、こま廻し、小倉百人首、おはじき、ダルマ落し、あやとり等楽しみました。回を重ねるにつれ子供達も昔遊びに馴染みあやとり等で舌を巻くスピードで操る女の子も居て私達に教えてくれる始末でした。

慌ただしい日常から離れ、ゆったりとした時を無邪気な子供達と仲良く過ごせた事は、楽しく有意義な一時でした。合わせて P.T.A の方々のお世話で「おぜんざいの席」、女性会の方々の御厚意で、「お茶席」にも楽しませて頂き昼過ぎに散会となりました。最後になりましたが企画して下さいの方々、お手伝いをお願いして快く出席して下さい皆様、厚くお礼申し上げます。



2. 第18回総会開催

事務局 西澤 四郎

今年度の総会が、去る4月18日ふれあい会館で開催されました。会員96名の出席を得て、松本第4倶楽部会長の司会で、最初に物故された 越當秀雄さんと高井幸太郎さんにご冥福を祈り全員で黙祷をし、次に岡会長の

挨拶で始まりました。

総会の議長には第1倶楽部の米倉英彦氏が選出され、各議案は修正なく承認されました。その後、岡会長からは「和を以って尊し」の理念で会を



運営してきたが、皆さんの協力を得て無事終わることが出来お礼を申し上げます。と、退任の挨拶をされました。また、乗本政三新会長からは、山の手倶楽部も「自由で住みよい安心安全なまちづくり」に、貢献出来るような活動をしていきたい。と、決意を述べられました。最後に、米寿を迎えられる栗山



昌子さん、土橋音和さん、前田利枝さん、江畑はつさんの表彰をして、会は終わりました。総会の後、安井桂坂消防分団長より、地震対策と火災予防のお話がありました。

3.

親睦会

親睦会担当

岡村 英明

総会の後、2階大枝の間で乗本新会長の挨拶に続いて松本副会長の乾杯で、親睦会が始まりました。



新役員長谷川文彦さん、足立郁男さん、伊藤光男さんの紹介、同好会の責任者より同好会活動のPRに続いて、歴代会長の立野和之さん（ひいらぎ）、上久保潤次郎さん（ひいらぎ）、山本 昭さん（つばき）から元気なお言葉を頂きました。



恒例となりましたピンゴゲムは、開始早々橋本浩季さん（かえで）の一等賞！笑顔。

15：00前、田中副会長の「一本締め！」で、“うば桜とおきな桜”が一堂に集う桂坂恒例の「総会后親睦会」はお開きとなりました。

会の途中、ご指名により安楽つねみさん（俳句同好会の講師・さつき）が会の楽しい一時を詠まれました。

一献を交わす春昼（しゅんちゅう）寿（いのちなが） つねみ

4. 単位倶楽部再編成について

事務局長 八木 兵司

前年度の役員会並びに合同会議に於きまして、単位倶楽部間の会員数の差が拡大してきている現状を修正するために、単位倶楽部の区分方法を変えることを検討致しました。現在、京都市から補助金を受けるために単位倶楽部の会員数が50名必要とされています。このために、当山の手倶楽部を4単位倶楽部に分けて補助金の申請をしていますが、この50名を確保するのが難しくなっている単位倶楽部が出てきている事がこの見直しの直接の理由でした。

しかし間もなく当桂坂地区でかなりの規模で住宅建設が始まる事が判明した為に、もう暫く会員の入会状況を見た上で再検討することに致しました。

先日開催されました京都市の補助金申請の説明会で、当倶楽部より補助金を会員数当たりで支給するよう要請をしましたが、これは国の支給基準なので簡単には変更出来ないとの事でした。

新しく住宅建設が進展して会員数がもう少し増加すれば、現在の4単位倶楽部を5単位倶楽部に増やすことも含めて、近い将来の課題としたいと考えています。

5. 単位倶楽部の会則並びに覚書の新設について

事務局長 八木 兵司

現在まで、山の手倶楽部の会則並びに役員会覚書は山の手倶楽部全体で制定されているだけで、各単位倶楽部毎の会則並びに覚書は整備されておらず、全体の会則の表題だけを変えて単位倶楽部用に転用したり、全くこれがない単位倶楽部もあり単位倶楽部間で統一されていませんでした。この為に、単位倶楽部によっては役員選出時に若干問題が出てきたケ - スも見られました。

そこで、この度統一した単位倶楽部の会則並びに覚書を作成することになり、検討の結果これを準備致しました。そして、この会則並びに覚書は単位倶楽部毎に事情が異なるので強制的に採用することはなく、各単位倶楽部が必要に応じて活用していくことに致しました。

会員投稿欄

平成20年度 **京都府安全アカデミ** - に参加して つばき 青山 正男

昨年11月に4日間、京都府安全アカデミ - 講座に参加致しました。名ばかり子供見守り隊隊長であり、地域の安心・安全を願う一人として、少しでも役立つ知識を習得べきと考えました。主催は京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり推進本部です。本部長は山田京都府知事で、京都府・京都府警・京都府教委が主に運営を担当していました。

参加者は、北は与謝野町や舞鶴市から、南は精華町や京田辺市から総勢24名集いました。講師は、名だたる安心・安全学の先生方で、各々の専門分野での講義や、屋外に出掛けての現地講習もありました。その中で異色の講師2人に注目致しました。一人は亀岡市篠町の井内自治会長です。篠町はご存知のとおり、去年3月セ - フコミュニティ国際会議でセ - フコミュニティ日本第一号認証を授かりました。篠町は人口18,000人、6,200世帯で集落は高層住宅・住宅地・旧集落と多様化しています。2004年自治会会長に就任された井内会長は、地域の現状を把握する中、子供と高齢者の怪我人が、異常に突き出ている実態の改善が命題と考えられ、世代を越えたふれあい・人の絆作りから、安心安全・住民満足の町作り行動計画を策定されました。自治会内36地区36集会所を、毎日何ヶ所も行動計画の説明に奔走され4年、篠町の事故・事件・怪我は4割方減少し、なによりも住民一人一人の安心安全意識が高まり、町作り活動へ、何か出来ることに参加しようとの思いがこの2008年「篠町 10,000人のパトロール隊」に結集されていると考えます。「高齢者見守り隊」「子供見守り隊」「防犯パトロール隊」など、自分に出来る事を地域住民として自主的登録にて、葵の紋所を所持し、団体パトロール、自主パトロールを行っています。

もう一人は、特定非営利活動法人日本ガ - ディアン・エンジェルスの小田理事長のお話です。当団体は防犯防止活動を事業内容とし、アメリカで生まれ世界27カ国に拠点があります。日本でも京都を含め24支部の活動地域があります。ユニホ - ムは、赤いベレ - 帽と白いシャツです。平成18年には「第一回安全・安心なまちづくり関係功労者表彰」内閣総理大臣賞を受賞しています。主な活動は地域安全活動・まちづくりの推進を図る活動・子供の健全育成を図る活動・国際協力の活動・安全のための啓発活動です。

今回は特にパトロールの目的、心構え、取り組みへの姿勢、パトロールの前に、パトロール中、パトロール終了後、パトロールのテクニク等など、体験学習を交えた講義でした。特に五感の防犯力はパトロール中必ずスイッチを入れておくことを学ぶ。

個人の防犯力 + 地域の防犯力を高めることにより = 犯罪に強い地域 ~ 安全なまちづくりを推進できることでしょう。今後共この2団体の活動に注視していきたいと思っています。

今年度行事予定

5 / 11 (月)	区老連G・G大会	嵐山東公園	9 / 26 . 27	市老連作品展他	みやこメッセ
6 / 13 (土)	区老連囲碁将棋大会ふれあい会館		10 / 22 (木) . 23 (金)		趣味の作品展
8 / 30 (日)	第1回合同会議	ふれあい会館	10 / 26 (月) . 27 (火)		区老連一泊旅行
9 / 未定	やすらぎト - ク	ふれあい会館	11 / 4 (土)	区老連 カラオケ	ふれあい会館
9 / 未定	カザラッカ	桂坂小学校	1 / 11 (祝)	新年互礼会	ふれあい会館
9 / 18 (金)	市老人クラブ大会	京都会館	3 / 7 (日)	第2回合同会議	ふれあい会館
9 / 19 . 20	区老連文化芸能祭	ウエスティ			

今年度の編集委員 八木兵司 安楽つねみ 岡村英明 足立郁男 西澤四郎